

# 真砂地区 区民対話会

- ◆日時:平成27年1月25日(日)  
13時30分～15時00分
- ◆場所:美浜区役所4階 講堂

1

**【テーマ】**  
**地域の将来像と担い手**  
～持続可能な地域コミュニティの構築～

2

## 地域コミュニティとは

日ごろの生活や活動を通じて作られていく、  
地域の住民や団体どうしのつながりや  
顔見知りの関係



自分たちの住んでいる地域を、  
みんなの力で自主的によくしていく

3

## 地域コミュニティの必要性

### 環境の変化

- 少子高齢化＋単身世帯の増加、子どもの安全、  
防災防犯  
⇒「地域」で支えていく必要のある世帯の増加
- 東日本大震災  
⇒日頃からの身近な人同士の交流の大切さの  
再認識



地域コミュニティの必要性は以前よりも  
高まっている

4

## 地域コミュニティの現状

### 身近なところで増加する社会問題

- 高齢者の所在不明問題  
(消えた高齢者)
- 高齢者の孤立死 年間1万5千人
- 認知症行方不明者 年間1万人
- 児童・高齢者虐待…

### 地域活動の低下

- 町内会、自治会の加入率低下
- 新住民、若い世代等の地域活動への参加が低調
- 「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」といった自助・共助機能の低下

**地域コミュニティの力が弱まっている**

地域の住民同士のつながりが希薄化 ⇒ 無縁社会

5

## 地域コミュニティの力はなぜ弱まったか

### 考えられる理由

- 少子高齢化、人口減少
- コミュニティ活動のきっかけとなる子どもの減少
- 価値観やライフスタイルの多様化
- 地域への愛着・帰属意識の低下
- 昼間に地域にいないことによるかかわりの希薄化

⋮

6

## このままいくと...

- 特定の人だけが地域活動を行う
- 地域団体の役員のなり手がいない
- 役員の高齢化、固定化⇒負担が集中



- 役員の高齢化、少数化によるさらなる活動低下
- 役員が培ったノウハウが継承されない



**地域コミュニティの継続が困難**

今はよくても将来はない...

7

## 地域の目指す将来像を考えてみましょう

例えば...

世代を超えたつながりと幅広い連携により地域活動が充実するまち



- 高齢単身者と地域がつながる機会の増加、拡大
- 子育て世代、若い世代の地域活動への参加の拡大
- ボランティアや大学等と連携する地域活動、団体の増加

8

もう少し具体的に、理想の地域生活を想像してみましょう

例えば...

- どこでもいつでも「挨拶」がある
- 誰でも参加できる楽しいイベントがある
- まちの美化などみんなが活動する
- 災害時などのもしもの備えがある
- 安心の見守りや支え合いがある

→本日の意見交換で、みなさんの考えをお聞かせください

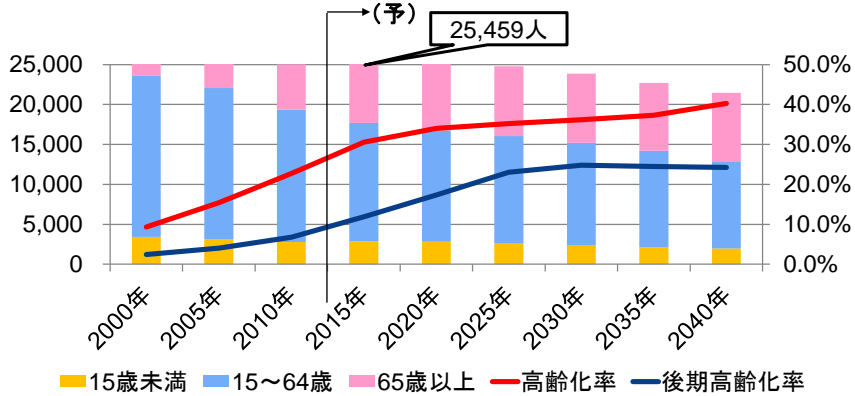
9

## 真砂地区の現状

10

## 将来推計人口・年齢別人口構成

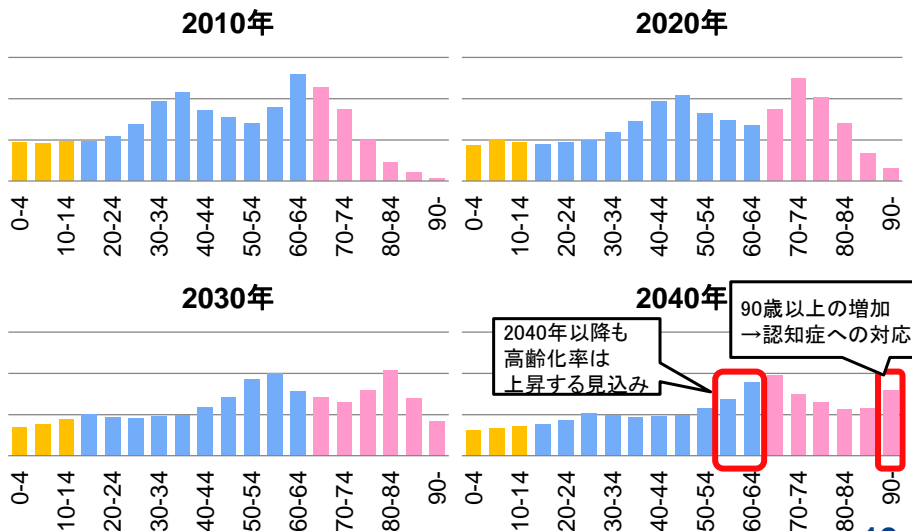
- 地区の人口は、25,000人程度から21,000人台へ減少
- 高齢化率は30%から一貫して増加し、25年後に40%超
- 後期高齢者(75歳以上)の占める割合は15年後に約25%



出典：2000年、2005年、2010年国勢調査  
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

11

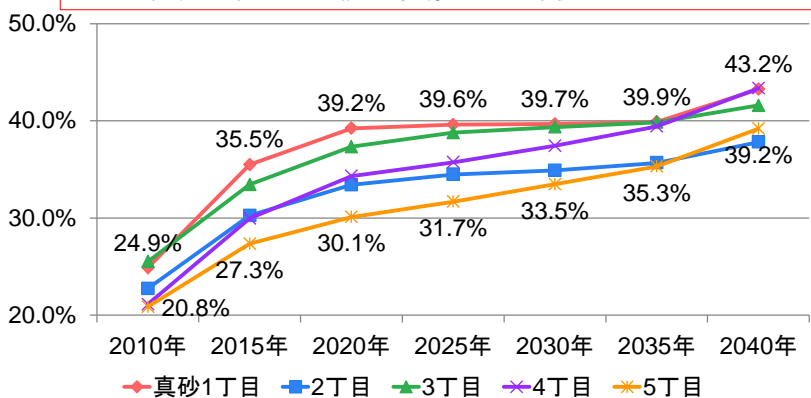
## 年齢別人口構成の将来予測



12

## 高齢化率の将来予測

- いずれの丁目においても、5年後には30%を超える
- 1丁目、3丁目では比較的早期(5~10年後)に40%に近づく

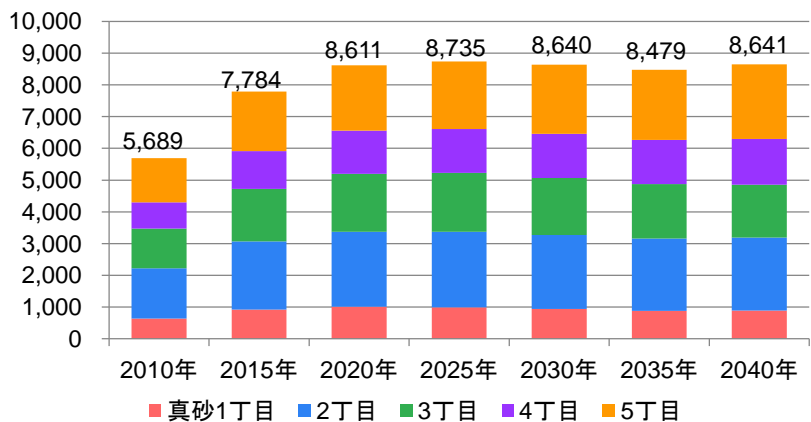


出典: 2010年国勢調査  
町丁目別将来推計人口(美浜区地域振興課)

13

## 高齢者数の将来予測

- 高齢者数は10年後まで増加し、その後横ばい

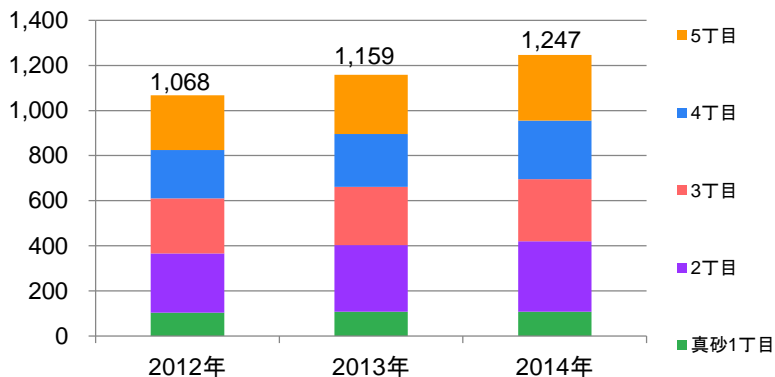


出典: 2010年国勢調査  
町丁目別将来推計人口(美浜区地域振興課)

14

## 一人暮らし高齢者の数

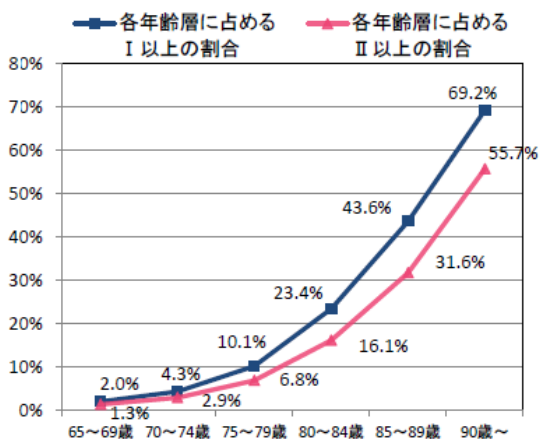
■ 地区の一人暮らし高齢者の数は過去3年間で一貫して増加



出典：2012～2014年度高齢者実態調査(千葉市高齢福祉課)  
町丁別年齢別人口(千葉市統計課)

## 認知症高齢者の増加

■ 年齢が上がると、認知症の割合が急増



I、IIは認知症高齢者の日常生活自立度  
 I：何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。  
 II：日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。

出典：2013年11月 要介護者数・認知症高齢者数等の分布調査(東京都)



## ■ 認知症高齢者の割合は増加を続ける

全国の「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の高齢者数は2010年で280万人、高齢者の9.5%。

2025年には470万人、高齢者の12.8%となる見込み。

### 2. 将来推計

(単位:万人)

将来推計(年)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)
日常生活自立度 Ⅱ以上	280	345	410	470
	9.5%	10.2%	11.3%	12.8%

※平成24年(2012)を推計すると、305万人となる。

※下段は65歳以上人口に対する比率

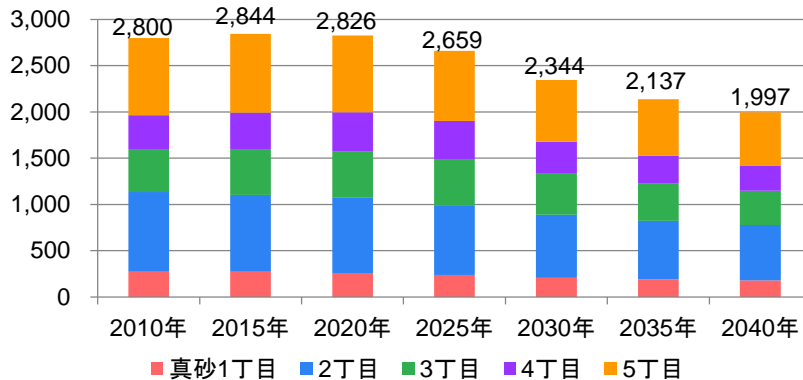
#### 〔算出方法〕

○将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所:H24.1推計。死亡中位出生中位)に、上記1の算出方法による平成22年9月の認知症高齢者割合を性別年齢階級別に乘じて推計した。

出典:「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の高齢者数について  
(厚生労働省)

## 子供の数の将来予測

■ 今後一貫して減少し、25年後には約7割に



出典:2010年国勢調査  
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

## 少子化が地域に及ぼす影響

子供がいることで生まれる様々な「人のつながり」



子供の減少＝つながりの減少

(地域コミュニティの弱体化)

19

## 現在の土地利用

- 共同住宅が大半を占める
- 駅周辺に共同住宅、その周りに戸建
- 3丁目の旧真砂4小跡地は、2014年12月の入札で住宅メーカー(ミサワホーム(株))が落札

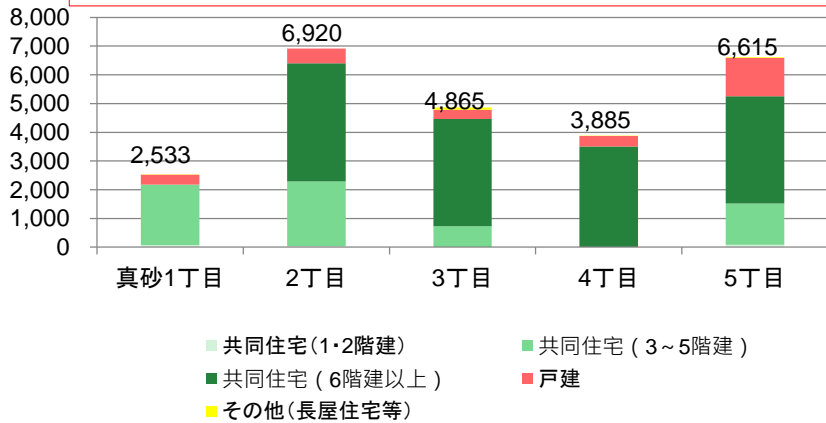


出典：  
2014年住宅地図をもとに  
美浜区地域振興課作成

20

## 住宅形態別人口

- 地区人口に占める割合は共同住宅が9割、戸建が1割
- 6階建以上の共同住宅が全体の6割を占める
- 戸建は5丁目に多い

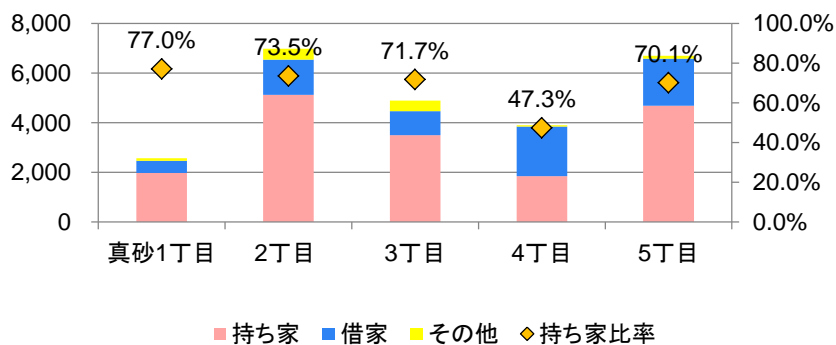


出典:2010年国勢調査 住宅の建て方別世帯人員

21

## 住宅所有別人口

- 持ち家比率は他地区と比較して低め
- 特に、大規模なUR賃貸住宅のある4丁目は借家が過半

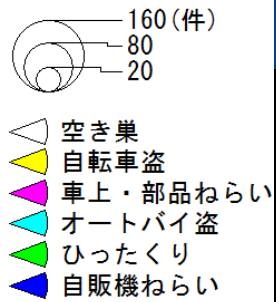


出典:2010年国勢調査 住宅に住む一般世帯人員

22

## 街頭犯罪発生状況

- 平成25年の真砂地区の重点街頭犯罪件数は113件(美浜区全体:1,035件)
- 自転車盗が8割を占める(92件)
- 空き巣が6件と多い。戸建の多い5丁目で3件、1丁目で2件、4丁目で1件。

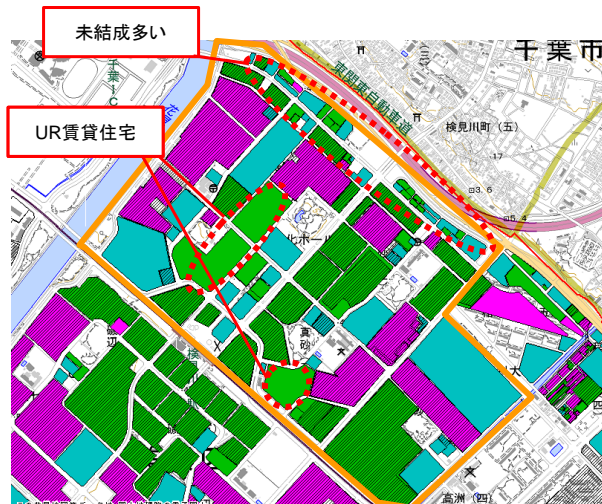


出典:平成25年町丁別重点街頭犯罪発生件数(千葉西警察署)

23

## 自治会結成状況

- UR賃貸住宅や一部の共同住宅で自治会未結成



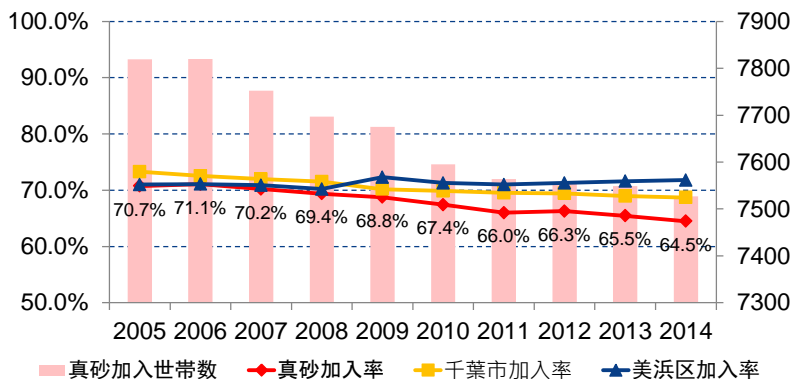
- 01共同住宅
- 02戸建
- 03事業所等

斜線:  
自治会結成箇所

24

## 自治会加入率

- 真砂地区での結成率は低下傾向
- 原因は、地区の総世帯数が増える一方、各自治会の加入世帯数が緩やかに減少しているため

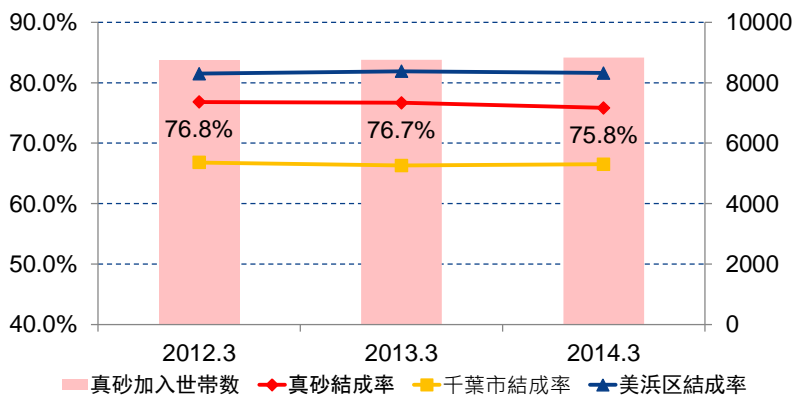


出典:2005~2014年度町内自治会のしおり(千葉市町内自治会連絡協議会)  
町丁別人口及び世帯数(千葉市統計課)

25

## 自主防災組織結成率

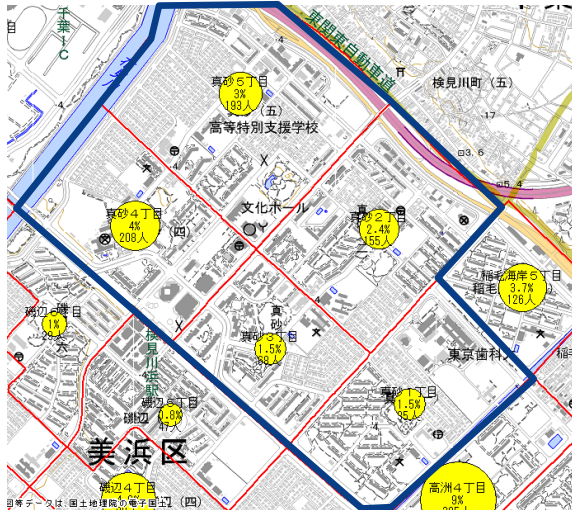
- 76%前後で推移
- 当面の目標は、区平均(約80%)と同程度



出典:2011~2013年度末自主防災組織結成状況(美浜区地域振興課)  
町丁別人口及び世帯数(千葉市統計課)

26

## 外国人比率



659人 / 25,030人  
(2.6%)

- 真砂地区は市平均(3.9%)より低い
- 地区内では4丁目がやや高め

出典: 2014年10月末  
町丁別人口集計表  
(美浜区市民課)

27

## 地域団体役員数

※美浜区が役員を把握している5団体のみを掲載しています。

地域団体	役員数	うち 兼務者数
地区町内自治会連絡協議会	30	8
青少年育成委員会	77	10
スポーツ振興会	7	5
民生委員児童委員協議会	15	7
社会福祉協議会地区部会	51	17

### 兼務の状況

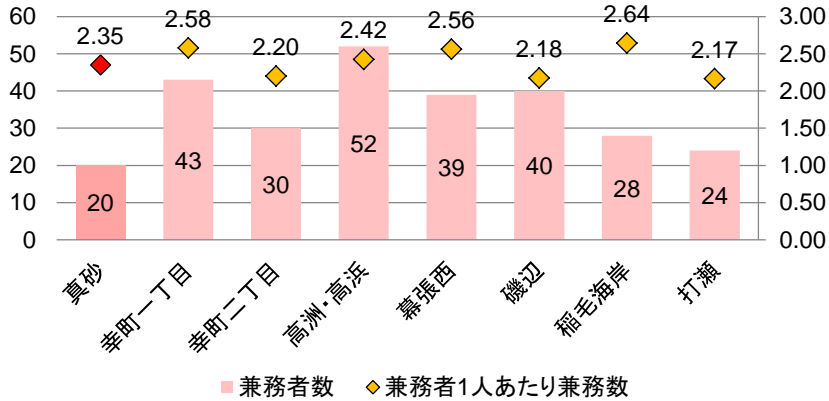
- ・兼務者数 20人(全役員153人)
- ・兼務者1人あたり兼務数 2.35
- ・最大兼務数 4(1人)

出典: 5団体役員調査(美浜区地域振興課 2014年3月実施)

28

## 地区別 地域団体役員の兼務状況比較

- 全地区中、兼務者数は最も少なく、兼務者1人あたり兼務数は中程度  
→比較的分担がなされている



出典:5団体役員調査(美浜区地域振興課 2014年3月実施)

29

## 真砂地区の地域活動のご紹介

### ①国際千葉駅伝の応援



- 毎年11月開催の国際千葉駅伝を応援
- 青少年育成委員会が中心となり、横断幕やのぼり旗、中学生による吹奏楽演奏などを準備
- 沿道では多くの方々が応援

30

## 真砂地区の地域活動のご紹介

### ②地域ささえあいネットワーク「ささえあいまさご」

- 困った時の地域でのささえあい(お互い様)
- 掃除、病院への付き添い、ごみ出しなどを協力員がお手伝い
- 利用料は1時間以内 300円から
- 平成25年度の対応件数は195件

#### 目標:

住み慣れた真砂の街で、誰もが安心して  
元気に暮らせるようになること

## 真砂地区の地域活動のご紹介

### ③手づくり公園まさご



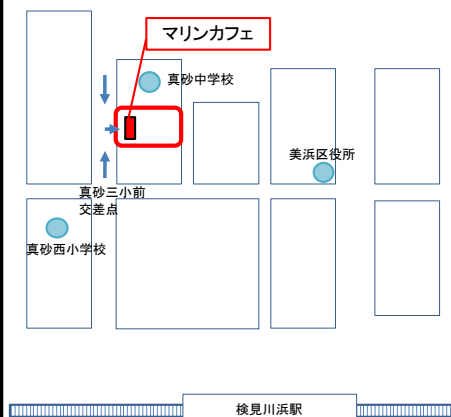
- 市民による手づくりの公園

—計画から施設整備、  
管理運営まで、  
すべてを市民が担う  
—花壇も、ベンチも、  
園路も、全て手づくり

- 平成26年7月30日に  
オープン



## 憩いの場にいかがですか 高等特別支援学校 マリンカフェのご紹介



- 生徒が焼き菓子(100～200円)や飲み物(100円)を販売
- 毎週火曜日、木曜日の10:00～12:00にオープン(年末年始等を除く)
- 地域の憩いの場としてぜひご利用ください！



33

## これまでの区連協・市連協要望

- 公民館の設計と建設着工の要望  
(平成15～26年度)  
対応: 地域のご要望や市全体の公共施設のあり方等を踏まえながら検討を進めています。
- 学校統廃合による跡施設(新真砂コミュニティセンター)の利用について  
(平成22～25年度)  
対応: 真砂コミュニティセンターは、現在の場所から移転し、平成28年4月に旧真砂1小跡地でオープンします。一部スペースを地域運営委員会の活動拠点とすることの検討や、利用状況に応じバス会社にバスの増便等を要望していきます。

34

## 地区の課題

■2040年以降も進む高齢化

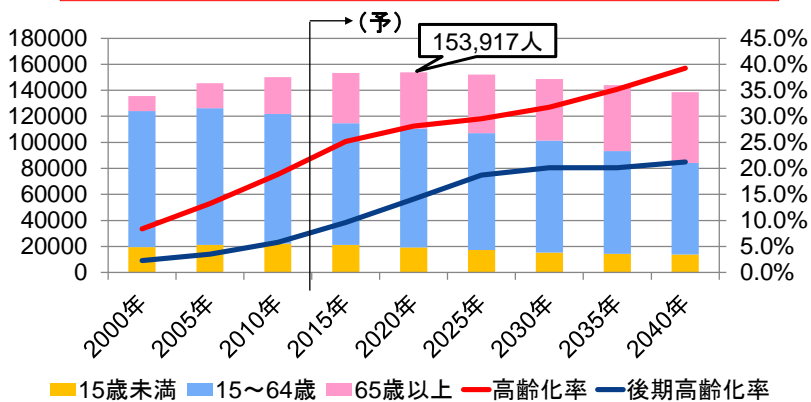
■賃貸住宅居住者の地域参加  
(自治会結成等を含む)

35

【参考】

## 美浜区の将来推計人口・年齢別人口構成

- 区の人口は2020年の約154,000人をピークに減少
- 高齢化率は2010年の18.9%から2040年には39.3%に



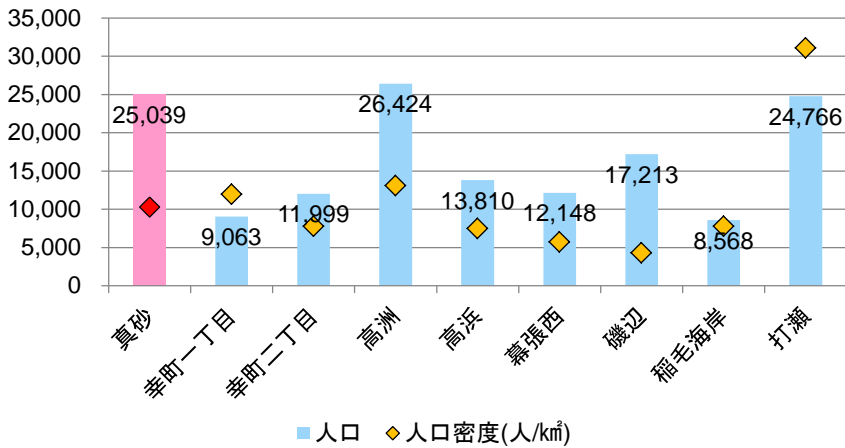
出典:2000年、2005年、2010年国勢調査  
将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)

36

【参考】

## 地区別 人口・人口密度

■ 地区人口は2番目に多く、人口密度は中位



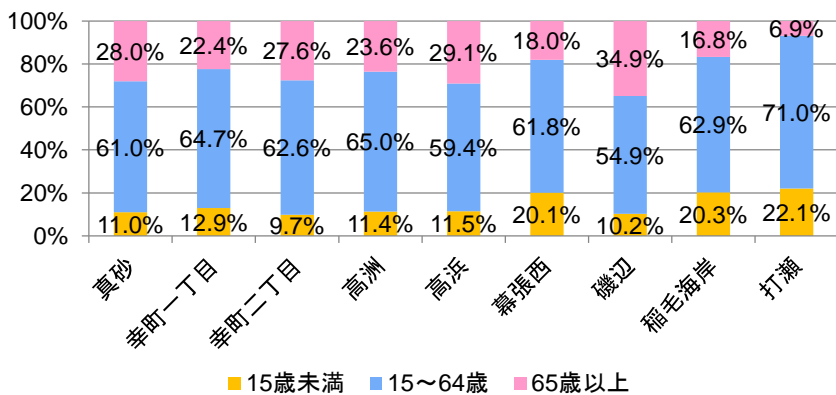
出典：2014年9月末町丁目別年齢別人口(千葉市統計課)

37

【参考】

## 地区別 年齢別人口構成比

■ 高齢化率は9地区中3番目に高い



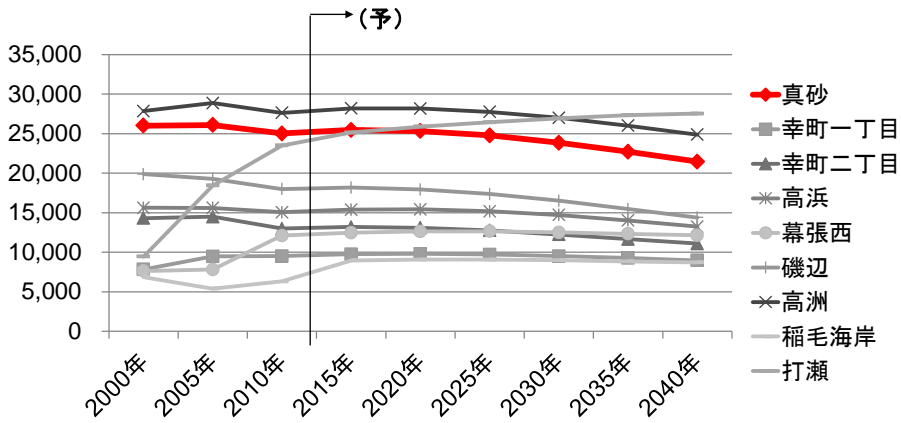
出典：2014年9月末町丁目別年齢別人口(千葉市統計課)

38

【参考】

## 地区別 将来推計人口

■ 人口は緩やかに減少していく



出典：2000年、2005年、2010年国勢調査  
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)